国際ロータリー第２７５０地区
東京多摩グリーンロータリー・クラブ
２０１１～２０１２年度

会報

愛と笑いで創ろう友の和・広げよう奉仕の輪

２０１２．０４．１８．第１０１０回例会　No.２２－３８　２０１２．０４．２５発行

◎司会　　**ＳＡＡ・親睦委員会　山田　文夫**
◎点鐘　　**会長　小泉　博**
◎ロータリーソング　「日も風も星も」
ソングリーダー　吉沢　洋景
◎お客様紹介　　**会長　小泉　博**
多摩中央警察署長　黒澤　正美様
多摩中央警察警務係　被害者支援担当　石原　泉雄様
岡山西南ＲＣ　椎原　裕二様
◎会務報告　　**会長　小泉　博**
本日例会前に臨時理事会を開催し、４月４日に開催された花見例会の決算書がＳＡＡ親睦委員会より提出されましたので承認いたしました。定例理事会は５月は筍掘りの移動例会の都合で、２週目の例会前に変更いたします。
◎幹事報告　　**幹事　荒瀧　義機**
配布物：　花見例会決算書、プロアマチャリティゴルフご案内
回覧：ハイライトよねやま、老人クラブ会報「朋友」
他クラブ例会変更：日野ＲＣ
◎次年度会務報告　　**会長エレクト　澄川　昇**
本日６時からの」に変更になりました。
◎表彰　スポンサーピン　　**会長　小泉　博**

＊澄川　昇会員
入沢修自会員を推薦
＊荒瀧　義機会員
堤香　苗会員を推薦

【　委員会報告　】

◎出席報告　　**出席奨励委員会　宮村　宏**

会員総数		３５名
出席義務者数		２５名
出席者数	出席義務者	２０名
	出席義務免除者	５名
	事前MU	０名
	計	２５名

出席率　25/29　＝　８６．２％
第1008回例会（4/4）訂正出席率　７７．４２％

◎ニコニコＢＯＸ　　**ＳＡＡ・親睦委員会　遠藤　二郎**

小泉　博	お客様ようこそいらっしゃいました。黒澤署長卓話楽しみにしておりました宜しくお願いします。
荒瀧　義機	黒澤様卓話楽しみです。宜しくお願い致します。
足立潤三郎	黒澤署長卓話宜しくお願い致します。
遠藤　二郎	昨日はポリオチャリティゴルフにご協力ありがとうございました。
遠藤　二郎	黒澤正美署長　石原係長ようこそいらっしゃいました。卓話宜しくお願い致します。
伊澤ケイ子	多摩中央警察署長　黒澤様よろしくお願い致します。
村上　久	黒澤署長様卓話楽しみです。宜しくお願いします。
宮村　宏	ベトナムでうちのコーチが昨年のウィンブルドンジュニアチャンピオン、今年のオーストラリアンオープンジュニチャンピオンに勝ちました。
宮村　宏	黒澤署長ようこそ！
中谷　絃子	昨日のポリオゴルフお疲れ様でした。
齋藤　誠壽	黒澤署長殿卓話真剣に受け止めさせて頂きます。
関岡　俊二	多摩中央警察署長　黒澤様ようこそおいで頂きました。
澄川　昇	黒澤様卓話宜しくお願い致します。
海野　榮一	多摩中央警察署長黒澤正美様ようこそお越し下さいました。
津守　弘範	多摩中央警察署長の卓話楽しみですね今回は都合で欠席します。
山田　勍	黒澤署長ようこそ卓話楽しみにしています。

本日の合計￥　２６，０００　（累計￥７７６、０８０　）
黒澤警察署長より卓話の謝礼をニコニコに寄付して頂きました。

◎その他委員会
☆アンコール小児病院支援
実行委員長　関岡　俊二
先週アンコール小児病院に幼児用の遊具20点を贈呈する話をしました。先方に送る時に贈り主としての写真を送りたいと思います、本日例会後に撮影いたしますのでよろしくお願いします。

☆ゴルフ同好会　　**部長　海野　榮一**
第21回多摩市社会福祉協議会チャリティゴルフが６月２５日、その前の第27回プロアマチャリティゴルフの案内が来ています。いずれも家族や知り合いの方の参加歓迎で

例会場　京王プラザホテル多摩　例会日 水曜日 12：30～　月最終例会 18：30～
事務局　〒２０６－００３３多摩市落合 1-43 京王プラザホテル多摩５６１号
TEL042-372-6463FAX042-372-6491　E メール tamagrc@tamagrc.join-us.jp
会長　小泉　博　幹事　荒瀧義機
会報・記録委員長　柴崎信洋　副委員長　大松誠二
委員　片山哲也　菊池　敏　宮本 誠　海野榮一　山田　勍

す。回覧を回しますので多くの参加をお願いします。プロアマチャリティは今までの累計寄付金は６千万円を超え、自治体を経由して福祉施設などに直接寄付をしています。今回はたまがわＲＣがホストクラブなので狛江市内の施設に 200 万円以上のチャリティ金を予定しています。
先日ポリオチャリティゴルフに参加しました。午前中は好天でしたが午後は一転して悪天候と成り後半は中止となりました。
5 月 30 日に 2 月 29 日開催予定だったスクラッチ会を開催します。後ほどご案内いたします、振るってご参加下さい。

☆第３回ポリオ撲滅チャリティーゴルフ

地区ポリオ・プラス副委員長　遠藤　二郎

昨日のポリオチャリティゴルフに当ＲＣより最大の参加者でご協力ありがとうございました。当ＲＣが初回開催を担当いたしまして第２回は稲城ＲＣ主催でしたが東日本大震災で自粛し今回は３回目でガバナーも参加予定でしたが、激務による体調不良により不参加となり、財団委員長もやはり激務による体調不良ということで不参加でした。

☆お花見決算報告　　ＳＡＡ・親睦委員長　足立潤三郎

４月４日の花見例会の決算報告をお配りいたしました。神代植物公園、深大寺、門前蕎麦など皆様いかがだったでしょうか？大勢の参加で大変ありがとうございました。
（決算書の内訳説明がありました）

◎1000 回連続例会出席記念バッチ贈呈

会長　小泉　　博

♪ 海野　榮一会員　おめでとうございます♪

◎卓話者紹介　　プログラム委員長　伊澤ケイ子

多摩中央警察署長　黒澤正美様のプロフィールをご紹介いたします。ご出身は東京都葛飾区で、昭和 28 年 2 月生まれの 59 歳、趣味は釣り、写真、映画鑑賞という事です。座右の銘は「窮すれば通ず」ということです。管理職からの略歴ですが、神田警察署地域課長、警視庁生活安全局地域課課長補佐、地域部地域総務課機動警邏隊担当管理官、碑文谷警察署副所長、第２自動車警邏隊長、そして今年３月に多摩中央署長にご就任されました。

◎卓話　「地域住民との絆」

多摩中央警察署長　黒澤　正美様

本日は伝統あるＲＣの皆様の前で卓話させていただき光栄です。本日は二つの話しをさせていただくつもりです。一つ目は自分が大島警察署に昭和 60 年から 62 年まで警部補として勤務致しておりました、31 歳の頃のことです。伊豆大島の三原山が大噴火し避難騒ぎになりました。島民 10、030 人無事に避難いたしました。二つ目は昨年宮城県に第２自動車警ら隊長として支援に派遣された時の話です。

そういう時の住民との絆のお話をさせていただきます。
三原山噴火は 200 年おき位に起るそうで、たまたま私が当ったのですが、結果としては１人のけが人もなく避難出来ました。移動最初の年は島生活を堪能していましたが、２年目 61 年４月に大島測候所から火山性異動が続いているという報告があり、避難訓練など対策をしておりましたところ 11 月 15 日噴火がありました。当初は花火のように綺麗に見えて専門家も大丈夫と言っていましたが、大きな噴火があり状況が変り、島全体が危険という事で全島民に避難指示が出ました。大島署の署長室を使って噴火予知連会長と大島測候所の所長が色々な観測や指示、連絡をしておりました。島の各所の地割れ具合などを調べるため駐在さんに命がけで行ってもらったりもしました。その結果、避難を早めないと危ないということになり数カ所の港から自衛隊や海上保安庁の船、漁船など総動員で避難する事が出来ました。島民の中で指示に従わないなどもありましたが機動隊の独身者を集めて避難の仕事に向かわせ、なんとか無事避難できました。中には車のタイヤが溶岩で溶けてそのまま走って逃げたなどという話もありました。避難後は島民の要望を聞き、留守家の家畜やペットの世話、電気の消し忘れなど 18,593 件の要望があり、対応に追われました。緊急の避難でしたので記憶に残っています。そういう、住民の方々との絆は今でも役に立っています。
次は千年に一度の東北大地震の話しです。第２自動車警ら隊は去年の４月から今年３月まで宮城の方で活動しており、3 月 16 日からは福島の方に行っております。福島では避難で無人となった地域の治安維持に今も勤めております。私は宮城の方に４回ほど行ってきました。我々の任務は現地の警察と同じように治安維持、仮設住宅などの巡回などです。我々は犯罪対策の精鋭でもありますが、できる限り避難所や仮設住宅に出向き声をかけ要望を聞いて行政機関に報告し、時には自分たちでやれる事は対応をしてきました。遠くに孤立している数世帯から来て欲しいとの要望が有り、行かない方が良いとの意見もありましたが、そこに通う事に決めて、危険な瓦礫の中を通った事もあります。その世帯からは喜んでいただき、話がしたいと言う事で談話しながらおいしい牡蠣ごちそうになったり、現地との絆が結ばれていく事を感じていました。そういうこと等を経験して、警察官になって良かったなぁと感じました。そういう地域住民との絆の経験を元に、これからは多摩中央署の地域との絆を大切に、仕事をしていきたいと思います。
最後に福島県警発表の手記を紹介したいと思います。
いわき中央署員だった 50 歳代の男性刑事は遺体安置所での棺の不足、毛布遺体安置袋の不足、怒号する遺族など、現場の混乱ぶりを綴っています。「震災３日目、棺が足りず、運び込まれた幼い兄弟とその祖母の遺体のうち弟しか納められない。対面した母親は兄弟を一つの棺に入れてあげたいと警察官にお願いし、それに応じて一つの棺に兄弟を入れてあげると母親は、良かったね、お兄ちゃんと一緒になったよ、と語りかけた。涙が溢れて仕方なかった」と。
田村警察署署員の奥様は「報道で福島第一原発３号機の爆発を知り、夫にメールと電話で、もう警察を辞めて帰っておいで、と何度も言いました、しかし夫は、今青森に帰ってもなにもならない恥ずかしいだけだ、私心を捨て警察官としての立場を完遂すると言い、その奥さんは警察官の妻として決心が付いた」と綴っています。
これからもよろしくお願いいたしますありがとうございました。　　＊　言葉を詰まらせての手記の紹介、署長のお人柄がしのばれました。

http://www.police.pref.fukushima.jp/shinsai/syokunsyuki2.pdf　東日本大震災警察職員の手記(2)　５作品(PDF) 24.4.5

◎点鐘　　会長　小泉　　博

（今週の担当：柴崎　信洋　）